

ヤギ飼育における有用性

その 1：除草について

愛知ヤギ農場

門田まさみ

はじめに

全国山羊ネットワーク会員の皆様、この度は「ヤギの友 40 号」への寄稿の機会をいただきありがとうございます。はじめに農場と私の簡単な紹介をさせていただきます。

農場といえば聞こえは良いですが、もともとは 300 年以上前から引き継がれてきた農業、牧畜業・水産業を家業とする私たちの仕事場が当農場です。場所は、自然豊かな愛知県の知多半島南部に位置しています。私門田まさみは、その農家の後継ぎ（せがれ）として兼業にて農業や牧畜業を営んでおります。農地面積は約 1 万坪（33,000 m²）ほどあり、そこでヤギの飼育をしています。

祖父母から「ヤギの乳を飲んで育った」と聞かされてきた私にとってヤギは身近な存在でしたが、私が兼業であったことと先代が早くに他界したため代々の英知を吸収することなくいまに至っております。そんな負い目もあってか今までは積極的に多方面との交流を行ってきませんでした。しかし若輩者として諸先輩から学ぶことはたくさんあります。そんな折こちらの全国山羊ネットワークの存在を知り、首尾よく入会させていただきました。

会報誌ヤギの友では、私がヤギを飼育するにあたり感じたことや考えたことを綴らせていただきます。お付き合いの程よろしく申し上げます。

農家とヤギ

私自身、ヤギを飼うことによって得られる大きな価値は理解しておりますが、この点については今後の号で触れるとして、ここでは一般的なお話をさせていただきます。

その昔、農家が牧畜業としてヤギを飼う多くの場合は、乳や肉の販売、それらの恵みから得られる皮や毛などの加工販売が主流でした。

それがいまでは減少の一途をたどり、乳製品やヤギ肉の販売が細々に行われているのが現状です。

では、農家は牧畜業としてヤギとどのように付き合っているのでしょうか？

現在の農家はヤギと積極的に付き合っておりません。

このような極論を論じると、積極的にヤギと付き合われている先輩農家に怒られてしまいますが、これはあくまで統計上のお話です。

農林水産省が発刊している畜産統計の山羊飼養推移では次のような結果が出ています。

畜産統計（山羊）	1957年（昭和32年）	2017年（平成29年）	減少数	減少率
飼養頭数	669,200頭	16,446頭	652,754頭	97.54%
飼養戸数	606,440戸	3,614戸	602,826戸	99.40%

出典：農林水産省「畜産統計」（農林水産統計速報）より筆者加工

60年で652,754頭（減少率97.54%）、602,826戸（減少率99.40%）も減っている事実からして農家が積極的にヤギと付き合っていないと言わざるを得ません。

もちろん全体的に農業従事者自体が減少していることも一理ありますが、農業就業人口は1960年（昭和35年）から1995年（平成7年）の35年間で43.14%の減少率（農林水産省調べ）でしたからこれらの数字が農家とヤギの関りを物語っていると思います。

ヤギ除草の比較検討

そのような中でもヤギが人と共存して活躍している例はたくさんあります。ヤギの友38号のアンケート調査（ヤギの利用方法）にも記載されていましたが、「除草をしてもらっている」の出現率は61.4%と一番高い結果でした。

私も休耕地の除草方法を考える中で比較検討（以下表）した結果、ヤギによる除草効果に大いに期待した一人です。

1,000坪の畑を除草する場合の比較検討					
		イニシャルコスト 初期費用	ランニングコスト 継続費用	メリット 良い点	デメリット 悪い点
地盤改良系	コンクリート	6,930万円 材料費のみ施工費は別途必要	0円	ランニングコストがかからない メンテナンスフリー	イニシャルコストが高額 農地課税から宅地並み課税になる
	焼却灰リサイクル砂	3,500万円 材料費のみ施工費は別途必要	砂利に比べれば生えないが、除去不要ではない	リサイクル砂によるエコ性はある	
	固まる土	2,100万円 材料費のみ施工費は別途必要	0円	ランニングコストがかからない メンテナンスフリー	
	砂利	236万円 材料費のみ施工費は別途必要	砂利の間から生えた雑草の除去が必要となる	地盤改良系の中では安価	農地課税から宅地並み課税になる
農業系	粒剤（根）	2万円 材料費のみ散布費用は別途必要	6カ月に1回実施が必要	機械（別途購入費用が必要）で散布・噴霧をおこなえばコストと労力が低い	人体や生態系に悪影響を及ぼす
	液剤（根・葉）	7.5万円 材料費のみ噴霧費用は別途必要	3カ月に1回実施が必要		
	液剤（葉）	3万円 材料費のみ噴霧費用は別途必要	2カ月に1回実施が必要		
草刈り		0円 （既存の草刈り機を使用） ガソリン、オイル、刃、労力は別途	1カ月に1回実施が必要	トータルコストが一番低い	労力が一番高い
防草シート		275万円 材料費のみ施工費は別途必要	破れひずみの定期メンテナンスが必要となる	約10年間はメンテナンスフリー	対象の海岸沿いの土地には不向き
★ ヤギ除草		50万円 2頭＋フェンス＋畜舎の費用を含む	冬の飼代と健康管理費が必要	地盤改良系や農業系と比べてエコ	生き物を飼うことの予測不能性

検討する観点はいろいろあると思いますが、何より無農薬野菜を作っている私たちにとってヤギによるエコ除草は循環農法を推進するうえでも相性の良い選択でした。

除草のジレンマ

しかし実際にヤギを飼育して除草しようとする、想定していなかったジレンマにさいなまれることとなりました。その最たるものが「雑草＝餌」という考えでした。この点について恥をしのんで申し上げると、浅はかといきようがありませんでした。

要するに好きな雑草（草木）もあれば、毒となる雑草（草木）があることの想定が甘かったのです。この考え方は、飼育した翌日には農協へ牧草を買いに行き、一週間後には牧草の種を注文することで大いに反省して改める結果となります。

心の中に浮かぶ「除草のために飼ったのに、草を買い、草を育てることになるなんて」という邪念を捨てて飼育に専念しなくてははいけませんが、仮に 10 頭のヤギを飼えば、1 頭あたり 1 日に 1 キロの牧草を食べます（個体差はあります）ので、1 カ月で 300 キロの牧草が必要になります。チモシーの単価がキロ 75 円だとすると 1 カ月で 22,500 円、1 年で 270,000 円もの牧草が必要になります。先の比較検討からすると大きな誤算でした。

除草できない草木

自分の無知や不勉強さを補うために萬田正治先生、今井明夫先生、中西良孝先生の著書をはじめ独立行政法人家畜改良センターの先行研究から学んだ結果、なんと約 80 種以上の草木が除草できない（ヤギが食べてはいけなく、または給与量に注意が必要）ことが分かりました。私がヤギの飼育をはじめたころは、食べてはいけなく草木のサマリが無いくことに大変苦労いたしましたので、ほんの一部ではありますが取りまとめた資料を添付させていただきます。ご参考になれば幸いです。

除草できない（ヤギが食べてはいけなく、または給与量に注意が必要）草木の一例（五十音順）
アジサイ、アセビ、アネモネ、亜麻、アマニ（亜麻の種）、イケマ、イチイ、イヌサフラン、イヌホオズキ、イボタノキ、ウマノズクサ、エニシダ、エンゴサク、エンゼルトランペット、カシ（多給しなく）、キツネノカミソリ、キツネノボタン、キョウチクトウ、キングサリ（別名キバナフジ）、キンポウゲ、クサノオウ、クレマチス（テッセン）、ケール（多給しなく）、ゲッケイジュ、ケマンソウ、サトウダイコン、ジギタリス、シキミ、シクラメン、シダ、ジャガイモ、ジャクナゲ（ロドデンドロン）、常緑樹のほとんどのもの、ジンチョウゲ、スイセン、スズラン、セイヨウアブラナ、センダン、ソテツ、ダイオウ（多給しなく）、タガラシ、タデ科（ギンギシ、スイバ、イタドリ、ミゾソバなど多給しなく）、チョウセンアサガオ、ツゲ、ツツジ、トウゴマ、ドクウツギ、トクサ、ドクゼリ、ドクニンジン、トチノキ、トマト（完熟果以外）、トリカブト、ナガハタバコ、ナンテン、ニセアカシア（ハリエンジュ）、ネジキ、ハウチワマメ、ハシリドコロ、ハナヒリノキ、ハンゴンソウ属、ヒガンバナ、ヒナゲシ、ヒヨス、ヒルガオ、フクジュソウ、ホウチャクソウ、ホオズキ、ホトケノザ、マツユキソウ、マルハタバコ、ミソナオシ（別名ウジコロシ）、ミツマタ、ムラサキケマン、ユズリハ、ヨウシュヤマゴボウ、ラッパスイセン、レイジンソウ、レンゲツツジ、ワラビなど
出典：「新特産シリーズ ヤギ 取り入れ方と飼方 乳肉毛皮の利用除草の効果」、「ヤギと暮らす 田舎暮らしの相棒に!」、「ヤギ飼いになる ミルクがとれて除草にも活躍。ヤギの飼方最前線!」、「家畜改良センター 山羊の飼養管理マニュアル」「ヤギの友 第39号 ヤギの相談室」、「ヤギの友 第38号 ヤギの相談室」、その他に先輩農家と獣医より得た情報を筆者にて加工しました。 注意：こちらの内容は毒のある詳細部位については記載しておりません。またヤギの個体差によっても異なります。詳しくは農研機構の「写真で見る家畜の有毒植物と中毒」、「牧草・飼料作物および雑草に含まれる有毒物質と家畜中毒」、「牧草・毒草・雑草図鑑」などをご参照ください。

除草写真

現在、伊勢湾を臨む 1,000 坪の畑はヤギが美味しそうに除草してます。



まとめ

今回は、ヤギ飼育における有用性として除草について寄稿させていただきました。一見するとその効果は低そうに感じますが、先に申し上げましたとおりヤギを飼うことによって得られる価値はとて高く、それは価格や費用対に換算できるものではありません。次号以降はその点にも触れさせていただきます。

つたない文章にお付き合いいただきありがとうございました。

まだまだ勉強中の身ですので、助言等ご意見をいただければ励みになります。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

最後に

全国山羊ネットワーク入会後に多くの地域情報を提供してくださった事務局の林様そしてヤギの友への寄稿要領や入稿に際してお力添えいただいた羽太様にこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

愛知ヤギ農場

門田まさみ